

2017年9月19日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

全国へき地教育研究連盟加盟校へリユースパソコン 289 台を寄贈

ジブラルタ生命保険株式会社(代表取締役社長兼 CEO 山内 一洋、東京都千代田区)は、リユース(再生)処理を施したノートパソコン 289 台を、全国へき地教育研究連盟(会長 櫻田 一則、東京都港区)を通じて、加盟各校から希望を募り、応募のあった全国のへき地・複式・小規模校(267 校)に寄贈しています。

■ “リユース(再生)”ノートパソコン寄贈の概要 ■

各学校へ寄贈するパソコンは、社内で使用しなくなった 289 台のパソコンにリユース処理(パソコン内のデータ消去に加え、筐体のクリーンアップ、アプリケーション等のインストール、オプション品の付設等)を行ったもので、学校ごとに梱包・配送します。

■ 寄贈の目的 ■

今回のリユースパソコン寄贈は、当社の社会貢献活動テーマである「未来を担う子どもたちを応援する」ために実施するもので、全国へき地教育研究連盟を通じて、連盟に加盟する全国のへき地・複式・小規模校から希望を募り、応募のあった 267 校へ順次寄贈しています。

なお、この取り組みは 2015 年からスタートし、昨年は 355 校に 461 台のリユース PC を寄贈しました。当社はこれからも未来を担う子どもたちを応援すべく、様々な社会貢献活動に取り組んでまいります。



(写真左) 青森市立浪岡野沢小学校でのリユース PC 贈呈式の様子(2017年8月17日)



(写真右) 富良野市立鳥沼小学校での PC 贈呈式の様子(2017年8月21日)

(ご参考) ■ 全国へき地教育研究連盟について

同連盟は各都道府県へき地教育研究団体の活動を促進し、関係機関団体との連絡を密にして、へき地学校、小規模学校、複式学級を有する学校、分校等の教育の充実をはかり、もってへき地における教育の振興をはかることを目的に活動されています。

ホームページ: <http://www.zenhekiren.net/index.html>